

「あはは学校」～素直に育つ栄中～
あいさつ・返事・履物揃え(躰の3原則)

令和 5 年度 三郷市立栄中学校スクールプラン

相互信頼に基づく学校づ

- 共感的人間関係の育成（全教育活動で）
- 小学校との連携（相互参観と情報共有）
- 教育活動の公開（**く**でも公開できる学校）
- 学校応援団との連携（地域人材の活用）
- 地域との交流（ボランティアで輝く生徒）



学校教育目標

「**澁刺颯爽**」

～**熱意・誠意・鍛錬**～

めざす学校像 心身ともに健康で、社会に有為な人間の育成
(学力・体力を伸ばす学校 美しい学校 夢への第一歩を踏み出せる学校)

めざす教師像 相互信頼に基づき、生徒の意欲を引き出す教師

めざす生徒像

「礼儀正しく、本気でやり遂げる生徒」
できるまでやり遂げる生徒（粘り強く継続する）
礼儀正しい生徒（相手の目を見て爽やかな挨拶をする）
自信と誇りを持つ生徒（考え、質の高い活動を目指す）

実現のための3つの大切

生徒指導の機能を生かす3つの留意点（自己存在感を持たせ、共感的人間関係を育成し、自己決定の場を与える）を常に意識した相互信頼に基づく教育活動の展開

教師は

授業を大切にする（意欲を引き出し、向上を実感させ）

- 授業規律の徹底（「三郷市の「授業の心得」の徹底）
→教員・来校者評価；全項目 95%以上
- 「埼玉県学力・学習状況調査」・「全国学力・学習状況調査」の検証結果を活用した授業改善→実施教科担当教員＋α
- 1 単位時間 50 分の有効活用→「主体的・対話的で深い学び」を通した理解深化を図るための方策を示し、日々の授業で実践←ICT 機器の活用、T4、ジグソー法、PREPS 法等
- 家庭と連携した家庭学習の習慣化→生徒・保護者評価；90%以上、校内研修の充実
- 地域や各関係機関との連携を通した体験学習や問題解決学習の充実→各学年とも年 2 回以上
- 新聞活用の推進や表現力テストの実施による、読解力、表現力、思考力の向上→県学調・全学調での前年度からの向上
- 考え・議論する道徳教育の充実→相互参観による授業改善、ICT 機器の活用等

教師は

心身を大切にする（安全な行動と安心して活動できる信頼感）

- 安心・安全な教育活動の実践→PDCA サイクルを活かした実践
- 読書活動を通しての感動体験→「夢への挑戦」の取組向上、生徒一人平均年間 25 冊以上の貸出をめざす（学年に応じて）、図書館司書によるレファレンス 18%増
- 家庭読書を推進し、親子の交流を深化→家読郵便コンクールへの出品 59 点以上
- 読書活動・道徳教育・人権教育・福祉教育を中心として、情操を豊かにするとともに、生命や人権を尊重する精神の醸成→生徒事故 0
- よい行いを積極的に賞賛→地域からの朗報 8 件以上、校長賞
- 「ダメなものはダメ！」という毅然とした指導と最後まで見届ける粘り強い指導の実施（責任を持たせる・鍛える・見届ける）
- ボランティア体験・職場体験・交流体験を通して、社会のルールを実践的に身に付ける指導→生徒発のボランティア活動を軌道に
- 保護者や地域の方々との接遇の機会において、教職員集団がよき手本に
- 体育授業および部活動を中心に運動の楽しさを十分に味わわせ、運動の生活化→新体力テストの向上項目 75%以上
- 質の高い練習により、生徒が活躍できる指導→県大会出場 3 部以上
- 家庭と連携を図りながら保健指導を充実 →県大会出場 3 部以上
- 生徒相互のコミュニケーション機会を意図的・計画的に設定→生徒間トラブル 50%減、心の醸成。

教師は

環境を大切にする（教師と生徒が一緒につくる人的・物的環境）

- ◆高い指導力と人間性豊かな教職員→全教職員にとって安心な職員室に
- 人事評価制度を活用し、教職員一人一人のよさを伸長・反映（管理職）
- 職員の持ち味やライフステージに応じた積極的な研修
- 学校課題研修に積極的に取り組み「生徒の姿で評価する」教員の育成
- 生徒や教育に関する前向きな話題が飛び交う職員室の雰囲気醸成
- 倫理確立委員会の充実、信頼される教職員を育成→教職員事故 0、苦情 0
- 学校経営の基盤である学年・学級経営力の向上
- 学年主任のリーダーシップのもと、前向きな学年集団づくり
- 学校応援団等地域の人材を積極的に導入→各学年 2 回以上
- ◆美しく安全な学習環境の整備→机・いすのラベルが美しいままの学級
- 定期・臨時の安全点検（触診）と見届けを徹底し、危機管理意識を向上
- 日常の清掃活動を重視し、生徒と協働し、見届けを行い環境美化を徹底
- より実践的、現実的な避難訓練や防犯教室、自転車交通安全教室の実施
- 学校予算を有効活用し備品購入や緑化等を含めた環境整備の計画的な推進
- 学習センター機能を中心とした学校図書館と図書館司書の活用
- ◆適切な言葉遣いと豊かな表現力
- 読書活動を通して豊かな表現力と語彙力を育成
- 言葉に敏感な意識を持ち、自ら率先して適切な言葉遣いの徹底
- 詩や作文などの参考作品を多く掲示し、豊かな表現力を育成
- 「夢への挑戦」、「表現力テスト」等を通した表現力の向上

生徒は

- 教室環境を自分たちで整え、しっかりしたあいさつで始める。
- 授業規律を守り、授業に集中する。（話をしっかり聴く）
- 自分の考えをわかりやすく表現し、伝える
（ノート記入、発表の仕方、表現力テスト）
- 疑問点を明確にしてから、次に進む姿勢づくり。（積極的に質問）
- 予習・復習を確実にし、授業に臨む。（基礎基本の定着）
- 1 分前着席による予習・復習の習慣化を図る。（心と頭の準備）

生徒は

- 前向きな態度で何事にも粘り強く挑戦する。
（計画、継続、集中、振り返り、見直し、強い意志）
- いつでも、どこでも、場に応じた挨拶をこころがける。（人を大切にする心）
- 気持ちのよい返事をする。
- 学校や社会のきまりを守る。（公德心の育成）
- 自分も他人も大切にすることができる。（自尊感情と思いやり）
- 自分が始めたことは誠実に最後まで自分で責任をとる。
- 積極的に人と関わり、よりよい人間関係をつくる。
- 自分の命は自分で守る。（危険予知・回避能力）
- 健康に関心を持ち、進んで運動する。

生徒は

- 学校の施設・設備を大切にする。
- 積極的に清掃活動等に取り組み、過ごしやすい学校にしようとする。
- 常に気持ちのよい教室（整った机とロッカー、美しい床と黒板）を保つ。
- 限りある資源を大切に、有効に使うことができる。
- 場に応じた適切な言葉遣いができる。
- 相手の目を見て明るいあいさつ、気持ちのよい返事ができる。

今年度の重点

学力向上の基盤として

★生徒が自分の成長を実感できる授業の推進

学力向上 3 つの力

- 計画する力
- 継続する力
- 集中する力

- 丁寧な生徒指導体制を進め、学習環境を整える。
- 学年・学級経営を充実、さらに活動の質を高め成功体験を大切にします。
- 1 単位時間の充実のための研修や ICT 機器の活用等の研修を深める。

強い意志と
柔軟な思考

数値目標

- ・東部地区学検(3 年)→5 科 SS52 以上、10・9 段階 18%以上、
- ・次年度の県学テ→2・3 学年県平均以上（国・数・英）
- ・次年度の全学テ→国語、数学、理科 全国平均以上
- ・実力テスト →1 年；県平均以上、10・9 段階 15%以上
2 年；SS52 以上、10・9 段階 18%以上
- ・伝統の継承→生徒によるあいさつ運動、感動的な卒業式、校外行事でのマナー、花咲かせ隊等のボランティア活動
- ・挑戦→家読コンクール・科学の甲子園 Jr、NIE 教育、読書フェスティバル、社会を明るくする運動作文コンテスト、プレゼンテーションコンテスト